令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	12_千葉県
市区町村名	12207松戸市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型１	課題の類型２	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状値の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
松戸市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	地域学校協働本部事業を通じ継続的な学校支援を行うためには、事業の中核を担う地域コーディネーターの確保が必須となっている。 本市の地域コーディネーターは、長期間に亘り活動していただいている方が多く、新しく地域コーディネーターを育成し事業を継続することが課題となっている。	新しく地域コーディネーターを確保すべく、学校管理職および現任の地域コーディネータへ情報提供を呼びかけている。学校管理職の教育観を転換する働きかけを行う。	地域学校協働本部事業により、学校と地域が育てたい子ども像や学校が抱える課題を共有することで、学校の教育課程の改善・充実や、地域の参画による多様な教育活動の実施など、学校運営上のさまざまな対応の充実につながることを、学校管理職に認識してもらえるよう、教育委員会として働きかける。	地域コーディネーターを確保することで地域学校協働本部事業の推進を目指す。	地域コーディネーターの人数	3	人	5	4	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる	今年度、年度途中から地域コーディネーターが１名増え、それに伴い本部も1つ増えた。また、年度途中で設置の相談を複数の学校から受け、設置に向け働きかけた。結果的に年度途中からではなく、次年度からスタートするという学校の判断により今年度の設置には至らなかった。年度途中からの設置でもよいことを周知していく。	市ホームページで公表 https://www.city.matsudo.chiba.jp/kyouiku/gakkoukyouiku/renkei_kyoudou/renkei/mcommunityschool.html